

# 絵で見る技術的基準

平成22年6月 愛知県  
(平成23年5月改正)  
(平成24年6月改正)  
(平成25年9月改正)  
(平成27年4月改正)  
(平成27年7月改正)  
(平成28年10月改正)

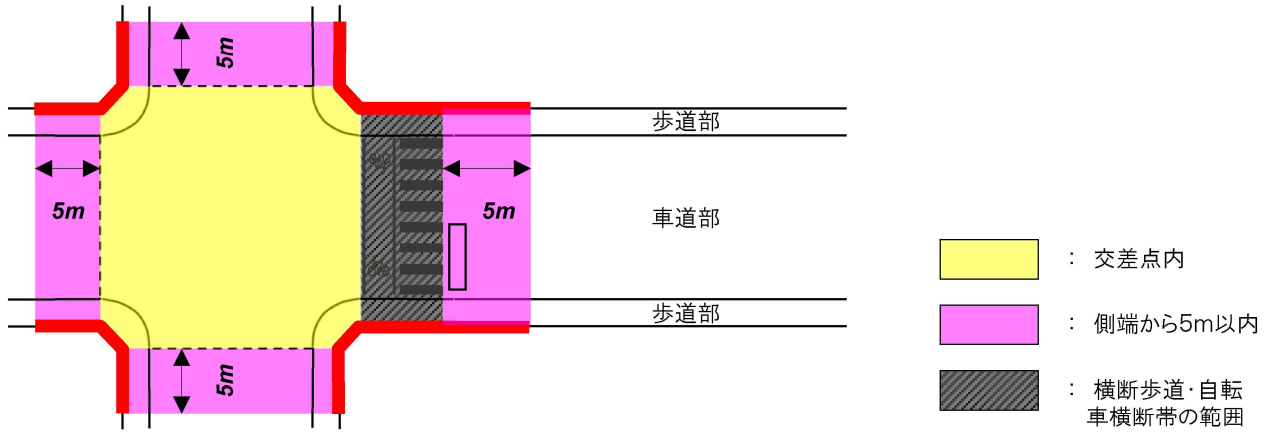
# 目次

駐車場法	1. 「自動車の出口及び入口」に関すること	
	交差点及びその側端から5m以内	-1-
	まがりかどから5m以内	-1-
	横断歩道又は自転車横断帯及びその前後の側端からそれぞれ前後に5m以内	-1-
	乗合自動車の停留所又はトロリーバス若しくは路面電車の停留場を表示する標示柱又は標示板が設けられている位置から10m以内	-1-
	踏切及びその前後の側端からそれぞれ前後に10m以内	-2-
	横断歩道橋(地下横断歩道を含む。)の昇降口から5m以内の道路	-2-
	小学校、義務教育学校、特別支援学校、幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園、知的障害児通園施設、児童公園、児童遊園又は児童館等の出入口から20m以内の道路	-2-
	幅員が6m未満の道路	-3-
	出入口を分離し、かつ、10m以上の間隔を確保	-3-
	出入口にすみ切りを設置	-4-
	出口付近の視距等	-4-
	前面道路が2以上ある場合の出入口	-4-
	2. 「車路」に関すること	
	自動車の車路の幅員	-5-
	【参考】 建築物である路外駐車場とは	-5-
	建築物である路外駐車場の自動車の車路のはり下の高さ	-6-
	建築物である路外駐車場の屈曲部の内のり半径	-6-
	3. 「建築物である駐車場」に関すること(車路以外)	
	駐車する部分の「はり下の高さ」は2.1m以上を確保	-7-
	内部の空気を床面積1㎡につき1時間に14㎡以上直接外気と交換する能力のある換気装置の設置(開口部がその階の床面積の10分の1以上ある場合は除く)	-7-
バリアフリー 新法	1. 「車いす使用者駐車施設」に関すること	
	駐車マスの幅は350cm以上確保	-8-
	車いす使用者用駐車施設であることを表示	-8-
	移動等円滑化経路の長さが短くなる位置に車いす使用者用駐車施設を設置	-8-
	2. 「路外駐車場移動等円滑化経路」に関すること	
	移動等円滑化経路上には段を設けない	-9-
	出入口の幅は80cm以上、通路(傾斜路)の幅は120cm以上を確保し、50m以内ごとに車いすの転回スペースを設置	-9-

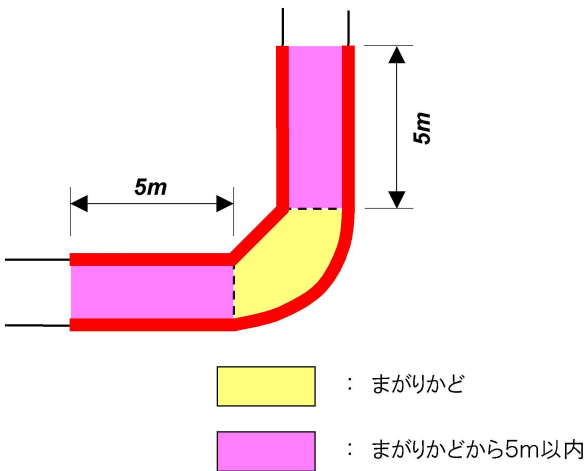
【出入口を設けてはならない箇所(1/3)】

路外駐車場の出入口は、図の赤実線の区間には設けてはならないとされています。

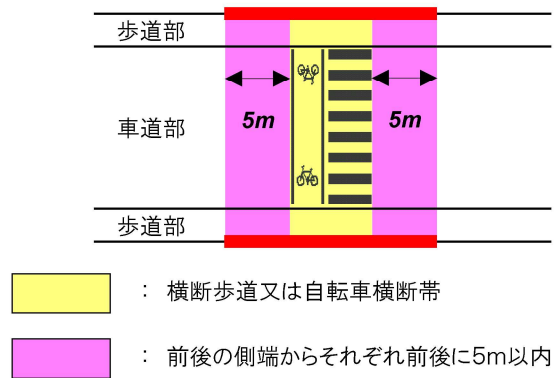
交差点及びその側端から5m以内



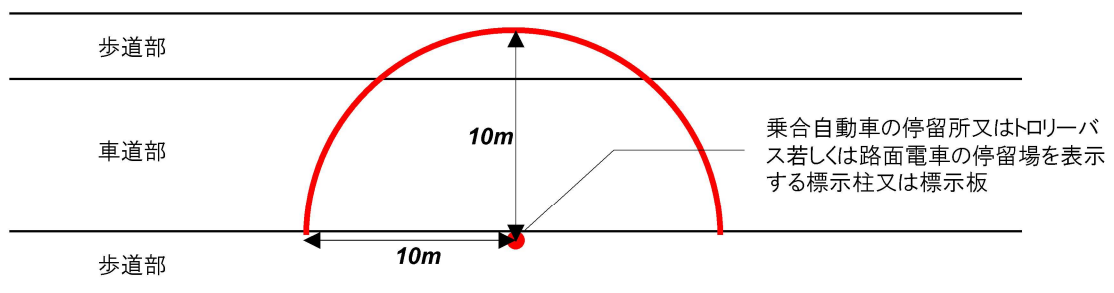
まがりかどから5m以内



横断歩道又は自転車横断帯及びその前後の側端からそれぞれ前後に5m以内

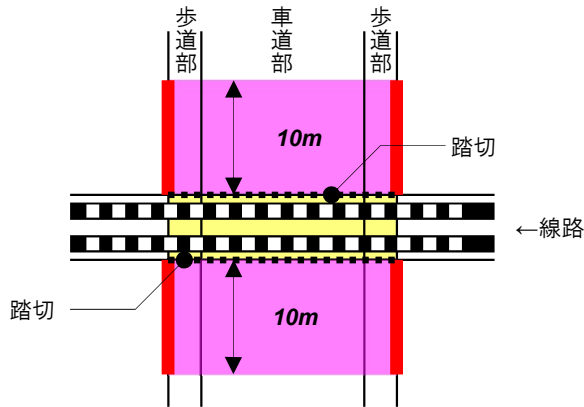


乗合自動車の停留所又はトロリーバス若しくは路面電車の停留場を表示する標示柱又は標示板が設けられている位置から10m以内

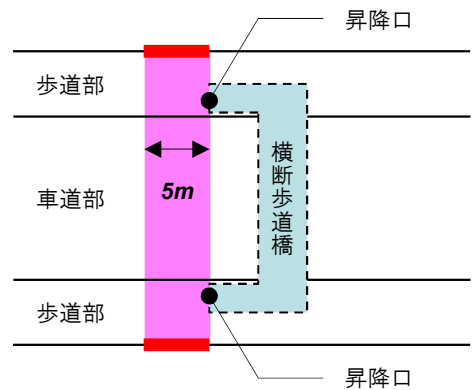


【出入口を設けてはならない箇所(2/3)】

踏切及びその前後の側端からそれぞれ前後に10m以内

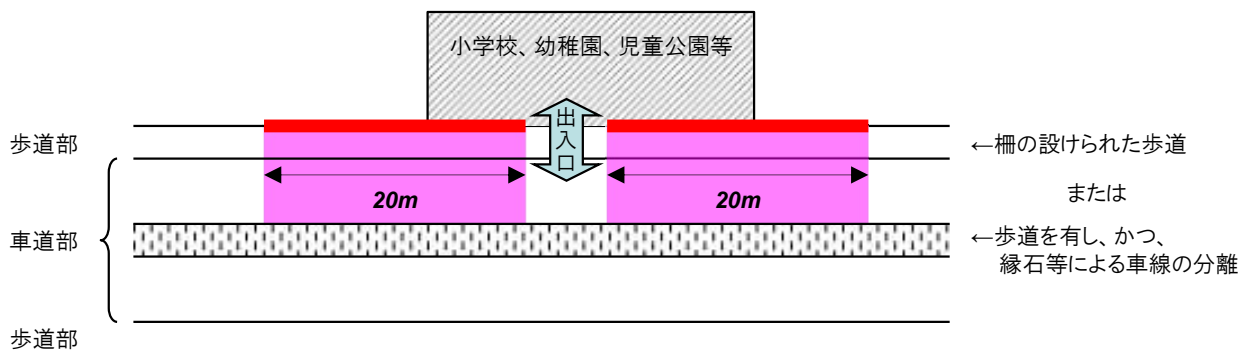


横断歩道橋(地下横断歩道を含む。)の昇降口から5m以内の道路

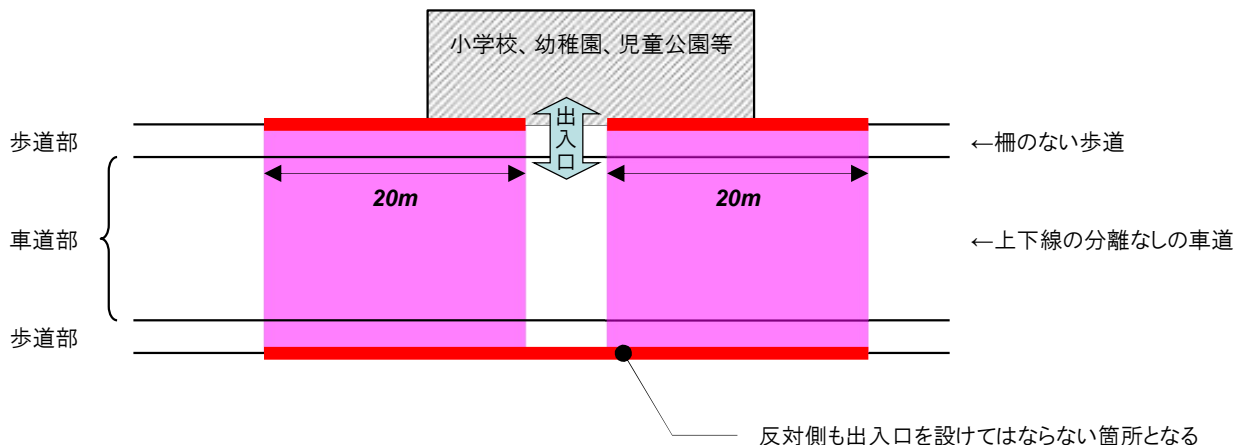


小学校、義務教育学校、特別支援学校、幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園、知的障害児通園施設、児童公園、児童遊園又は児童館等の出入口から20m以内の道路

A) 上記施設の出入口に接する柵の設けられた歩道を有する場合、または、上記施設の出入口に接する歩道を有し、かつ、縁石線または柵その他これに類する工作物により車線が方向別に分離されている場合

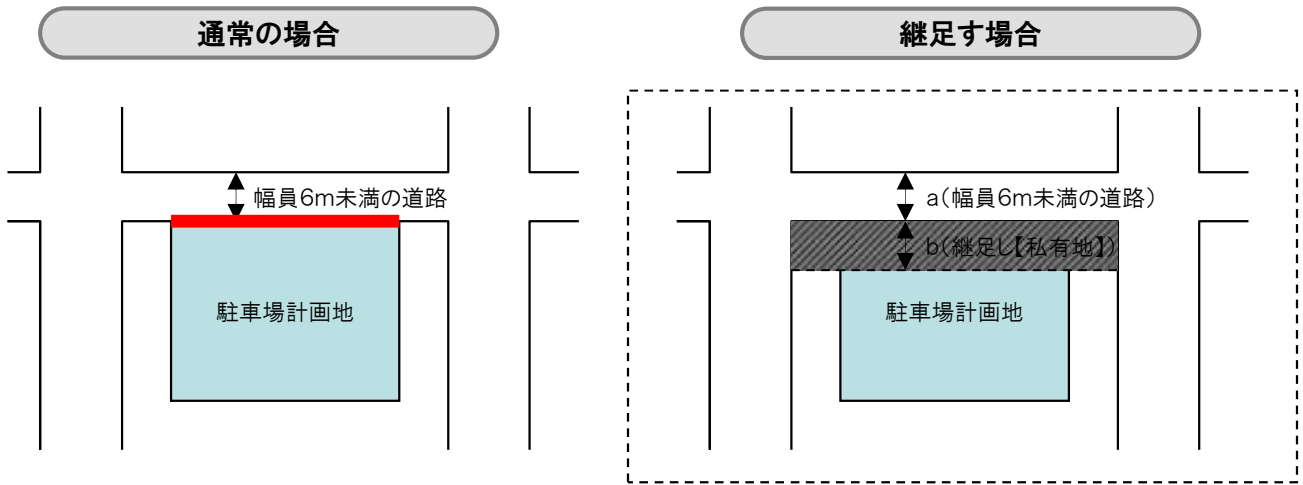


B) 上記施設の出入口の接する道路がA)以外の場合



【出入口を設けてはならない箇所(3/3)】

幅員が6m未満の道路



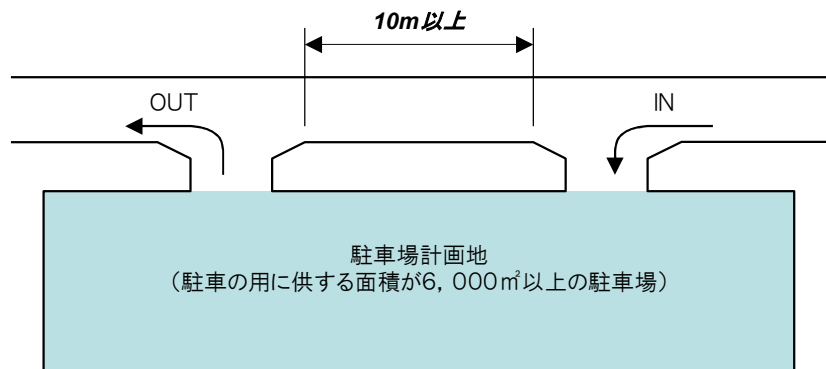
ただし、右図のように道路に接するかたちで私道として継ぎ足すことにより幅員6mを確保すれば出入口を設置することが可能となる。(a+b ≥ 6m)

【その他出入口に関して守るべき事項(1/2)】

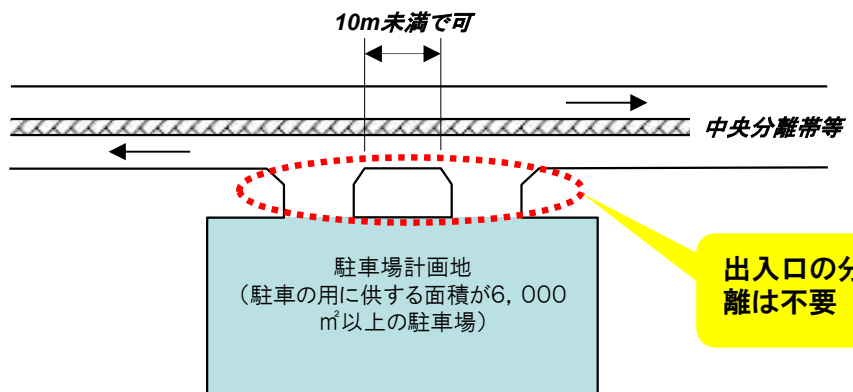
出入口に関しては、「出入口を設けてはならない箇所」のほか、次の事項を守る必要があります。

出入口を分離し、かつ、10m以上の間隔を確保

自動車の駐車のために供する部分の面積が6,000㎡以上の場合、出口と入口を分離し、かつ10m以上の間隔を確保



ただし、縁石線又はさくその他これに類する工作物により当該出口及び入口を設ける道路の車線が往復の方向別に分離されているときはこの限りではない

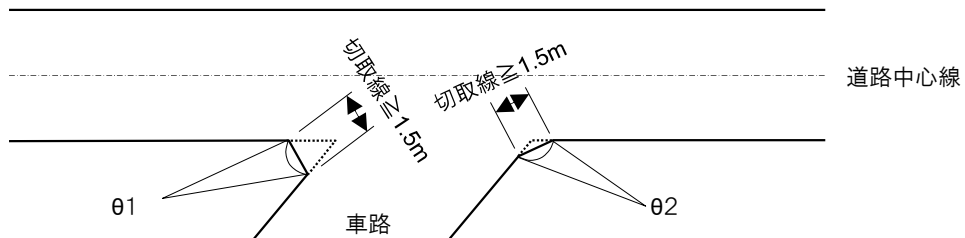


出入口の分離は不要

【その他出入口に関して守るべき事項(2/2)】

出入口にすみ切りを設置

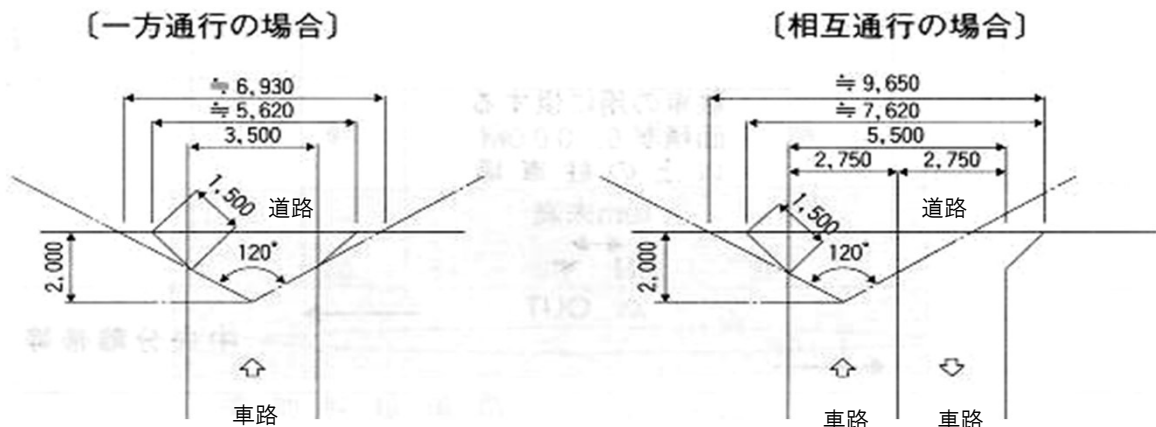
自動車の回転を容易にするために必要がある場合は、出入口にすみ切りを設置(切取長さは1.5m以上)



出典:「駐車場法解説」(ぎょうせい)

出口付近の構造

出口付近の構造は2m[1.3m]後退した車路の中心線上1.4mの高さにおいて、左右それぞれ60度以上の範囲内が確認できる視界を確保 ([ ]書きは自動二輪専用駐車場の場合)



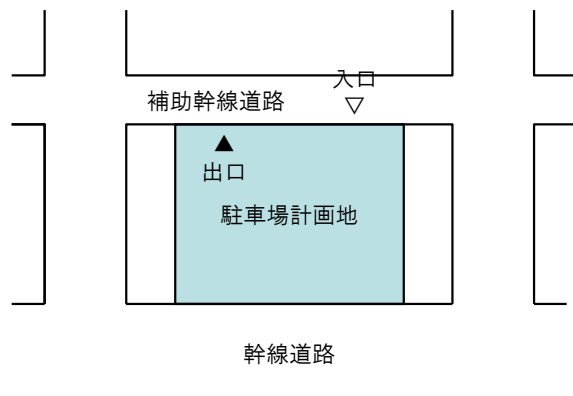
出典:「駐車場法解説」(ぎょうせい)

出典:「駐車場法解説」(ぎょうせい)

※ 図は自動車駐車場の場合

前面道路が2以上ある場合の出入口

前面道路が2以上ある場合は、自動車交通に支障を及ぼすおそれの少ない道路に出入口を設置(歩行者の通行に著しい支障を及ぼすおそれがあるなど特別な理由があるときは例外。)

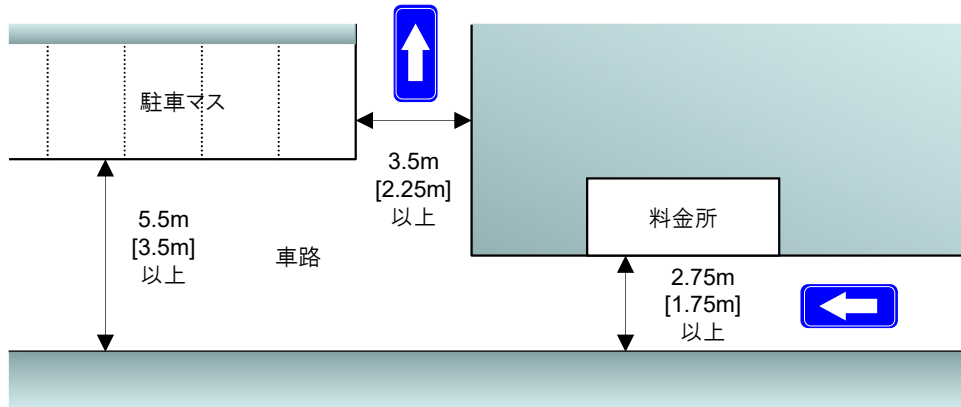


路外駐車場には、以下のとおり自動車が円滑かつ安全に走行できる車路の設置が必要です。

自動車の車路の幅員

自動車の車路の幅員5.5m[3.5m]以上を確保しなければならない。  
 ただし、一方通行の車路にあたっては、3.5m[2.25m]以上(料金所が設置され歩行者が通行しない一方通行の車路は2.75m[1.75m]以上)とすることができる。

※[ ]内は自動二輪車専用駐車場の場合の値



【参考】 建築物である路外駐車場とは

建築物である駐車場の例



建築物ではない駐車場の例

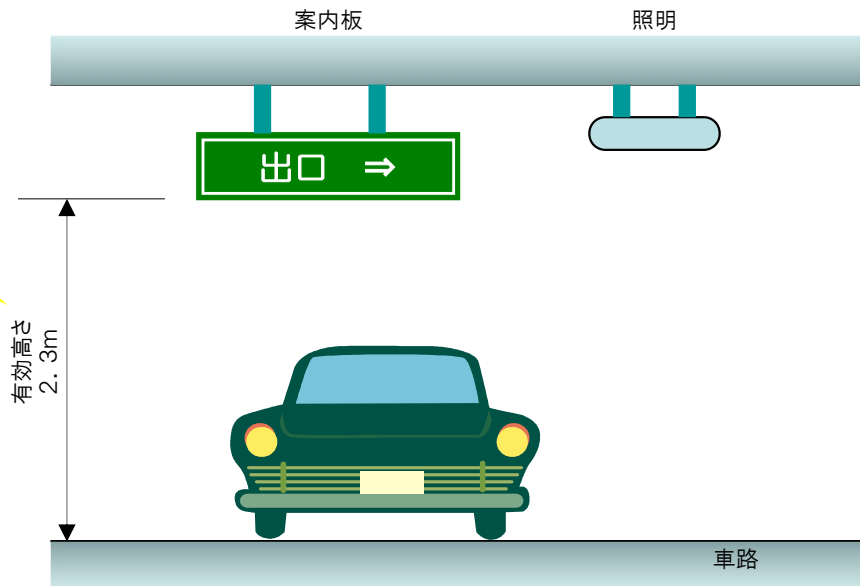


建築物である路外駐車場の自動車の車路については、車路の幅員のほか次の事項も守る必要がある。

建築物である路外駐車場の車路の構造(はりの高さ)

建築物である路外駐車場の車路における「はりの高さ」は2.3m以上であること。

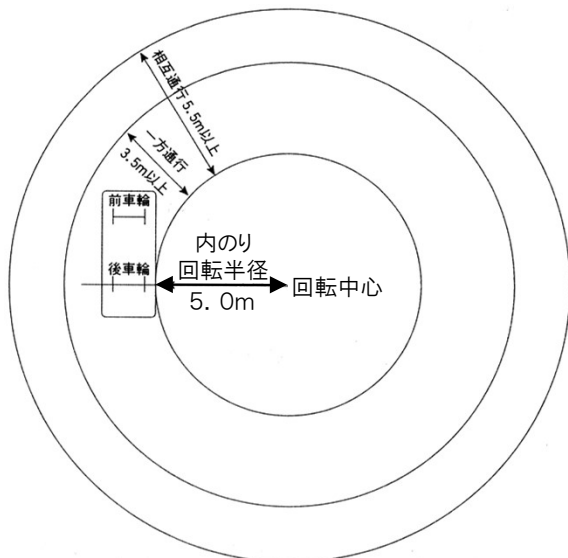
「はり下の高さ」とは案内板や照明等の建築設備も含む有効高さであることに注意



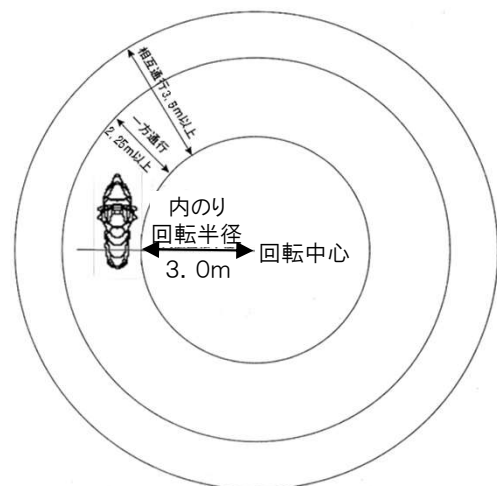
建築物である路外駐車場の車路の構造(屈曲部の内のり半径)

屈曲部は内のり半径を5m[3m]以上を確保 ([ ]内は自動二輪車専用駐車場の場合の値)

通常の場合



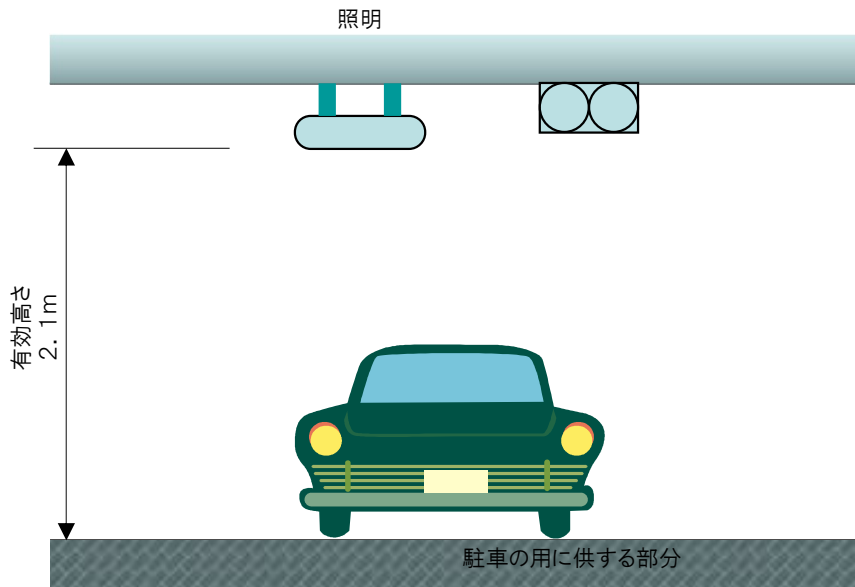
自動二輪専用駐車場の場合



「駐車場法解説」(ぎょうせい)の図を加工して作成



駐車する部分の「はり下の高さ」は2.1m以上を確保

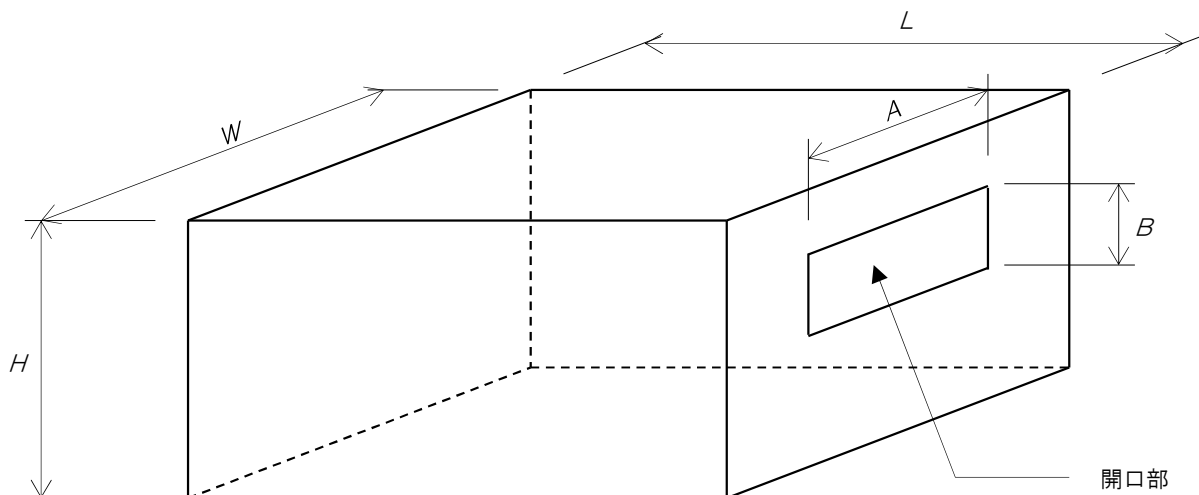


内部の空気を1時間に10回以上直接外気と交換する能力のある装置の設置

内部の空気を床面積1㎡につき1時間に14㎡以上直接外気と交換する能力のある換気装置を設けなければならない(開口部がある場合その面積がその階の床面積の10分の1以上ある場合はこの限りではない)

換気能力は以下の値以上とする必要がある

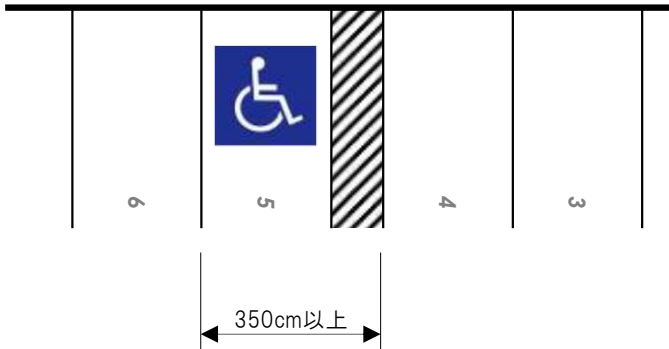
- 機械換気の場合: 必要換気量(V)  $V \geq 14 \times W \times L$
- 自然換気の場合: 開口部面積(A×B)  $A \times B \geq (W \times L) / 10$



出典:「駐車場法解説」(ぎょうせい)

駐車マスの幅は350cm以上確保

路外駐車場車いす使用者用駐車施設の駐車マスの幅は350cm以上とすること



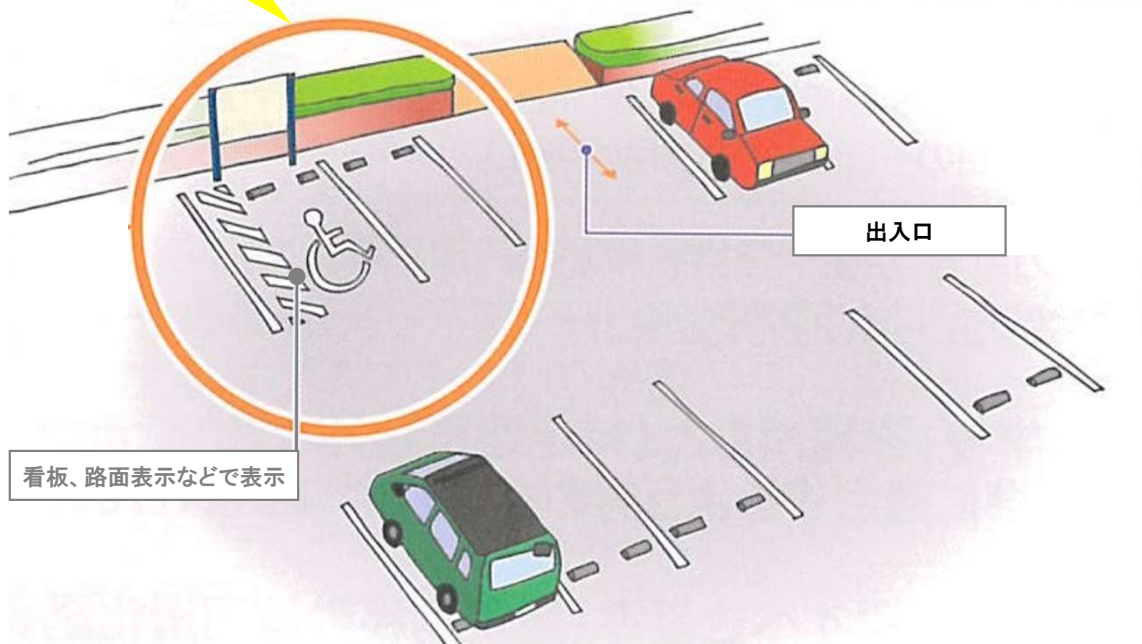
車いす使用者用駐車施設であることを表示

路外駐車場車いす使用者用駐車施設又はその付近に、当該駐車施設であることの表示をすること。



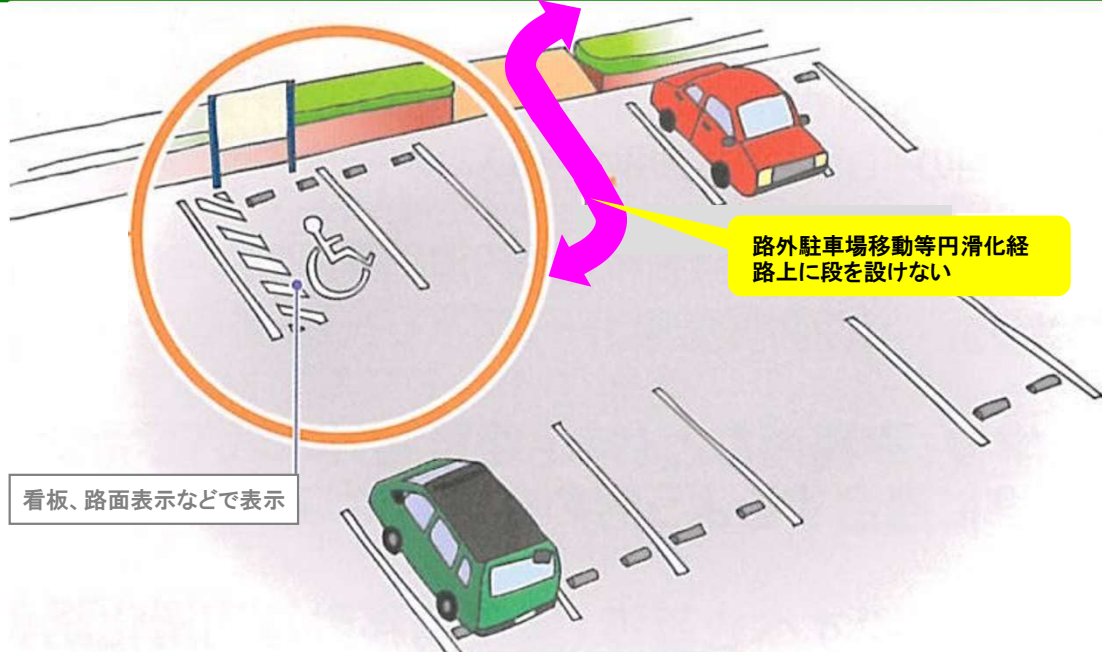
移動等円滑化経路の長さが短くなる位置に車いす使用者用駐車施設を設置

出入口にできるだけ近い位置に広い幅があり円滑に利用できる駐車スペースを設置



「バリアフリー新法の解説」(国土交通省、警察庁、総務書)  
 ([http://www.mlit.go.jp/barrierfree/transport-bf/explanation/kaisetu/kaisetu\\_.pdf](http://www.mlit.go.jp/barrierfree/transport-bf/explanation/kaisetu/kaisetu_.pdf))  
 を加工して作成

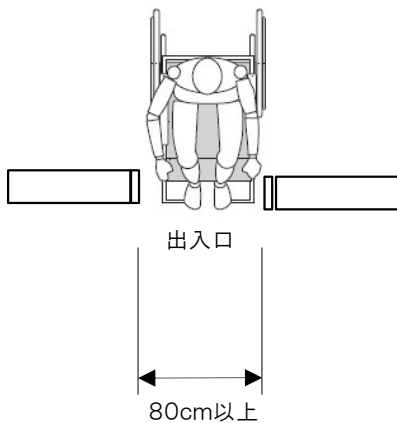
移動等円滑化経路上には段を設けない



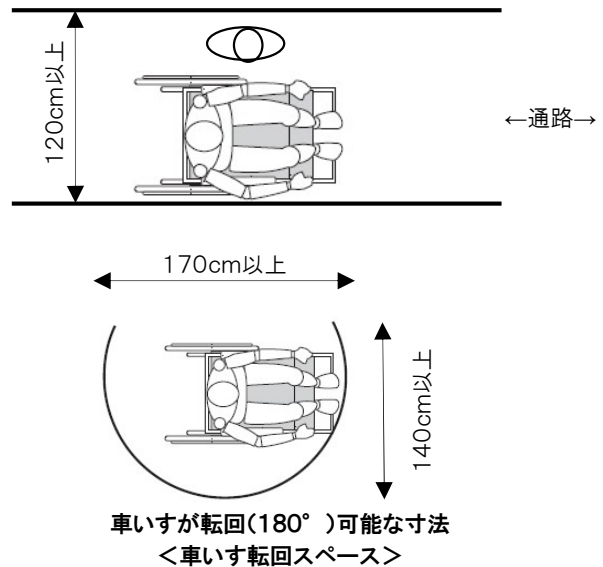
「バリアフリー新法の解説」(国土交通省、警察庁、総務書)  
 ([http://www.mlit.go.jp/barrierfree/transport-bf/explanation/kaisetu/kaisetu\\_.pdf](http://www.mlit.go.jp/barrierfree/transport-bf/explanation/kaisetu/kaisetu_.pdf))  
 を加工して作成

出入口の幅は80cm以上、通路(傾斜路)の幅は120cm以上を確保し、50m以内ごとに車いすの転回スペースを設置

出入口の幅



通路の幅



「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドラインについて」(国土交通省、警察庁、総務書)  
 (<http://www.mlit.go.jp/barrierfree/public-transport-bf/guideline/guidelineshisetsu.pdf>)  
 を加工して作成